

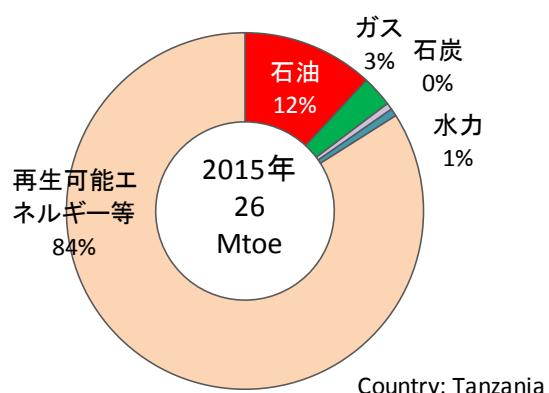
5-14 タンザニア

1. サマリー

1. エネルギー事情

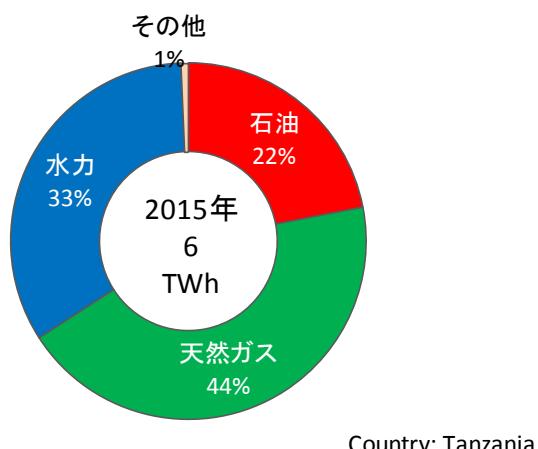
- (1) 一次エネルギー供給量（2015年）：26 百万 toe（日本の 0.06 倍）
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量（2015年）：0.49toe（日本の 0.14 倍）
- (3) エネルギー自給率（2015年）：88%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量（2015年）：11.6 百万 CO₂ton（日本の 1.0%）
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量（2015年）：0.20CO₂ton（日本の 2.2%）
- (6) エネルギー源別可採年数（2016年末）：n. a.

一次エネルギー供給構成（2015年）



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成（2015年）



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- タンザニアのエネルギー・資源開発はエネルギー鉱物省 (Ministry of Energy and Minerals) が管轄していたが、2017 年 10 月にエネルギー省および鉱物省に分割された。電力・水道・石油・ガス事業の規制・管轄についてはエネルギー・水利規制庁 (The Energy and Water Utilities Regulatory Authority; EWURA) が担当している。
- 石油・天然ガスの開発は、国営のタンザニア石油開発公社 (TPDC) が管轄している。現在、TPDC は外資系企業とともにガス田開発を行っている。
- 電力事業はタンザニア電力供給公社 (Tanzania Electric Supply Corporation; TANESCO) が独占しているが、離島の Zanzibar はザンジバル燃料電力公社 (Zanzibar State Fuel & Power Corporation) が電力供給を行っている。

(2) 基本政策

- タンザニアでは、沿岸部の陸上から大水深部にかけてガス田が発見されている。国内の電力需要増加に合わせて、2000 年ごろから浅海部のガス田開発が行われ、これまでに Songo Songo ガス田と Mnazi Bay ガス田の生産が行われている。
- 2010 年以降、大水深部を中心に大規模なガス田が発見されており、生産や利用についての検討が進められている。2013 年には天然ガスの開発・利用に関する基本政策である「タンザニア国家天然ガス政策」(The Natural Gas Policy of Tanzania) が発表された。
- 経済・人口成長に伴い電力需要が増加する一方で、既存発送電インフラの老朽化などの問題を抱えている。電源構成を、水力発電からガス火力発電へ切り替えを進めている。

(3) 最近の動向

- 2016 年 4 月、ウガンダ Hoima からタンザニア Tanga 港を結ぶ総延長 1,403km(860mile)、送油能力 20 万 b/d の原油輸出パイプライン建設（総工費 40 億ドル）が、両国政府により発表された。この決定を受けてタンザニアは、ウガンダが 25 億ドルで新設する製油所 (6 万 b/d) の権益 8%を所有する。また、同原油パイプラインの輸送料金は 12.2 ドル/bbl と試算されている。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2016 年 3 月、ガスと蒸気を併用する高効率の複合型発電所建設に関して、住友商事が建設事業を取りまとめ、東芝プラントシステムと三菱日立パワーシステムズが参画することになった。受注額は 350 億円で、2018 年の稼働開始を目指す。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Tanzania

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量	26 Mtoe												
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給	0.49 toe/人												
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給	0.59 toe/千ドル												
(4) エネルギー自給率	88 %												
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量	11.6 百万CO ₂ 換算ton												
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量	0.20 CO ₂ 換算ton/人												
(7) エネルギー源別構成率	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>石炭</td> <td>1 %</td> </tr> <tr> <td>石油</td> <td>12 %</td> </tr> <tr> <td>天然ガス</td> <td>3 %</td> </tr> <tr> <td>原子力</td> <td>0 %</td> </tr> <tr> <td>水力</td> <td>1 %</td> </tr> <tr> <td>再生可能エネルギー等</td> <td>84 %</td> </tr> </tbody> </table>	石炭	1 %	石油	12 %	天然ガス	3 %	原子力	0 %	水力	1 %	再生可能エネルギー等	84 %
石炭	1 %												
石油	12 %												
天然ガス	3 %												
原子力	0 %												
水力	1 %												
再生可能エネルギー等	84 %												
(8) エネルギーの輸入依存度	12 %												
(9) 石油の輸入依存度	100 %												
(10) 輸入原油の中東依存度	NA %												
(11) 原油の輸入先	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>第1位</td> <td>NA</td> </tr> <tr> <td>第2位</td> <td>NA</td> </tr> <tr> <td>第3位</td> <td>NA</td> </tr> </tbody> </table>	第1位	NA	第2位	NA	第3位	NA						
第1位	NA												
第2位	NA												
第3位	NA												

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA